

V2Hシステムを併設しているお客様へ

追加機能に関するお知らせ

このたびは、トライブリッド蓄電システムをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品のV2Hシステムに関わる追加機能、**車両電力消費抑制・車両余剰充電上限値**についてご案内いたします。
V2Hシステム取扱説明書内のV2Hスタンド設定に関する記述を読み替えていただきますようお願いいたします。

- 以下のような場合でお困りの方におすすめの追加機能です
 - ・ 車両と接続して翌朝になると車両の蓄電池残量が想定以上に減っている
 - ・ 車両の放電下限設定値を下回ることがある
 - ・ 翌朝、車両へ太陽光発電電力による余剰充電が始まらない
 - ・ 車両への余剰充電でも100%まで充電したくない

- V2Hスタンド設定の追加機能について
V2Hシステムに関わる機能に**車両電力消費抑制・車両余剰充電上限値**を追加しました。



追加項目	内容および設定値	出荷時設定		
車両電力消費抑制	車両の蓄電池の電力消費を抑える機能です。	しない		
	<p>「する」:</p> <p>車両充放電電力が少ない場合に暫定的にV2Hスタンドの充放電を停止します。 放電時：優先設定を車両にしても家庭の電力消費状態によっては蓄電池からの放電、または買電に切り替わります。 余剰充電時：太陽光発電による余剰電力が発生した場合でも、一定時間(おおよそ30秒程度)は蓄電池への充電、または売電を継続します。その後、余剰電力が多い場合に車両への充電に切り替わります。</p> <p>● 本機能の対象動作</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 対象</td> <td>「グリーンモード」、「売電モード」</td> </tr> <tr> <td>× 対象外</td> <td>「EVモード」、「車両充電」、「拡張充電」、「エレムーブ充電」、停電時運転</td> </tr> </table> <p>● 本機能で「する」を選択すると、停電時に蓄電池ユニットを併設していない場合、車両は自動で放電開始をしません。車両から放電させるには、操作が必要になります。取扱説明書の「停電時に車両の電源ソケットを利用した起動方法」を参照してください。</p> <p>● 車両の蓄電池の電力消費を抑えるため、家庭の電力消費が少ない場合は買電します。</p> <p>「しない」:</p> <p>自動運転モードの充放電時間帯に、少ない車両充放電電力での充放電が可能です。 また、太陽光発電がない時に停電が発生した際、自動で車両からの放電に切り替わります。 ただし、車両とV2Hシステム間の通信を維持するため車両の蓄電池が電力を消費します。 (V2Hシステム取扱説明書「通常の使い方」参照)</p>		○ 対象	「グリーンモード」、「売電モード」
○ 対象	「グリーンモード」、「売電モード」			
× 対象外	「EVモード」、「車両充電」、「拡張充電」、「エレムーブ充電」、停電時運転			
車両余剰充電上限値	<p>太陽光発電電力による車両への余剰充電の際に、指定した上限値で充電を停止する設定です。</p> <p>車両の蓄電池残量が設定値に到達した時に余剰充電を停止します。</p> <p>車両電力消費抑制を「する」(有効)にした場合のみ設定ができます。(初期値 95%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 車両蓄電池残量が設定値を下回ることがあります。 ● 「車両放電下限値」が「車両余剰充電上限値」を上回る、もしくは同じ値に設定すると、車両は充放電を行わなくなります。 ● 室内リモコンで設定する「車両余剰充電上限値」と、車両ごとに定められた「充電可能上限値」のうち、低い方が優先となります。 (例:「車両余剰充電上限値」が90%、「充電可能上限値」が94%の場合、90%まで充電を行います。) 	100%		
	設定値		20%~80%は10%刻み 81%~100%は1%刻み	
車両充電上限値	設定値	20%~100%の10%刻み (80%、90%の設定を追加しました)	100%	

※1:蓄電池を優先にした場合、太陽光発電電力と蓄電池の放電電力で不足している分は、車両からも放電する場合があります。
また優先設定に関わらず、ご使用環境によっては買電する場合があります。

- 他の項目については、V2Hシステム取扱説明書「V2Hシステムの詳細設定について」を参照してください。
- 設定手順については、V2Hシステム取扱説明書「V2Hシステムの詳細設定を選ぶ」を参照してください。

メルセデス・ベンツ日本合同会社の車両(EV/PHEV)に接続する際の注意点

- メルセデス・ベンツ日本合同会社の車両は、車両からの充放電が少ない場合、車両からの要求で停止し、コネクタロックが解除されることがあります。この場合、車両の再起動が必要なため、車両の鍵を携行してコネクタの抜き差しを行う必要があります。
- メルセデス・ベンツ日本合同会社の車両は、車両蓄電池残量が100%に達すると、その後放電を行わない場合があります。

下記の設定にてご利用ください。

【室内リモコン設定方法】 – 本通知の追加機能を利用する場合 –



- (1) 車両電力消費抑制^{※1} : 「する」
 (2) 車両余剰充電上限値^{※1} : 「99%」もしくは車両の最大充電状態^{※3}の設定値よりも低い値
 (3) 車両充電上限値^{※1} : 「90%」もしくは車両の最大充電状態^{※3}の設定値よりも低い値
 (4) 最大充電電力設定^{※2} : 「2.0 kW」以上

※1: ホーム画面「車両アイコン」をタッチ→「V2H スタンド」画面(1/2 ページ目)

※2: ホーム画面「家アイコン」をタッチ→「設定情報」をタッチ→「設定情報」画面(2/2 ページ目)

※3: 詳しくは車両の取扱説明書をご確認ください。

上記設定にすると、つぎの現象が起こることがあります。

- グリーンモードの放電時間帯に太陽光発電電力の余剰電力が少ない場合は、コネクタロック中でも車両へ充電せずに売電することがあります。また、家庭の消費電力が少ない場合は、コネクタロック中でも車両から放電せずに買電することがあります。
- 車両によっては、太陽光発電電力の余剰電力が少ない場合に車両からの要求で停止し、点検コード「BI797」を表示してコネクタロックが解除されることがあります。(点検コード「BI797」参照)
- 停電時運転モード「自動給電切替設定」運転中に、車両との充放電電力が小さい場合に車両からの要求で停止し、点検コード「BI797」を表示してコネクタロックが解除されることがあります。(点検コード「BI797」参照)
- 運転モード「EV モード」、「車両充電」、「拡張充電」および「エレムーブ充電」で運転中に、車両の蓄電池残量が100%になると、点検コード「BI794」を表示してコネクタロックを解除します。この場合、車両の充電率を99%以下にすることで放電を開始することができます。(点検コード「BI794」参照)

点検コードのメッセージと処置

点検コード	メッセージ	処置
BI797	充放電電力が低い状態が続いたか、EV-IT が利用されたため、自動停止しました。充放電電力が低い状態が続くと、車両によっては停止処理が行われます。また、V2H 接続時には EV-IT が利用できません。	車両の再起動が必要です。再度動作させる場合は、車両の鍵を携行して V2H システムの充放電コネクタの抜き差しを行ってください。
BI794	未対応車が接続されました。この車種は接続できません。充放電コネクタを車両から抜いてください。	車両の蓄電池残量が 99%以下になると放電を開始します。

V2H システム取扱説明書に記載されている内容を上記のとおり、読み替えていただきますようお願いいたします。この「お知らせ」は、V2H システム取扱説明書とともに大切に保管してください。